

国際関係論 専攻 領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目：第 外国語（ ） / 専門科目（ 国際関係論 ）

試験時間：（ 90 ）分

以下の 1-4 の設問から、留学生入試受験者は 1 つ、それ以外の受験者は 2 つ選択して答えなさい。選択した設問ごとに別の解答用紙を用い、氏名などの必要事項を記入したのち、解答する設問番号を解答用紙の左上欄に記入すること。同一設問について 2 枚以上の解答用紙を用いる場合は、1-(1), 1-(2)のように記入すること。

1. 近年のポピュリズムの台頭について、複数の事例を挙げたうえで、台頭の原因を分析するとともに、それがもたらす（であろう）帰結について論じなさい。
2. ジョゼフ・ナイやロバート・コヘインは、国際関係における「国境横断的な相互作用」に注目し、国家中心的な国際関係研究の補強を試みた。今日の世界における国境横断的な相互作用の具体例を挙げつつ、主権国家システムの衰退との関連性を論じなさい。
3. 社会主義経済から資本主義経済への体制転換について、その背景、過程、結果、評価を中心に移行経済論の観点から具体的に論じなさい。
4. 国境を越えた人の移動である「難民」を分析するにあたって、移民研究の枠組みで把握できない要素は何であるか、社会と政治それぞれの観点から議論してください。

国際関係論 専攻 _____ 領域（博士前期/修士・**博士後期**・前後期共通）

試験科目：第 外国語（ ） / 専門科目（ 国際関係論 ）

試験時間：（ 90 ）分

次の 1. と 2. の両方の問いに答えなさい。（Answer following two questions.）

1. 国際関係における人権概念の発展と限界について、リアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズムそれぞれの立場から分析を行ってください。（1. Examine the development of the idea of human rights and its limitations from the perspectives of realism, liberalism, and constructivism.）

2. グローバリゼーションのうち、人の移動の世界的な自由化・活発化が現代の国際関係に及ぼした影響について、一つ以上の具体例を挙げて詳細に論じてください。（2. Discuss the impact of increased freedom of movement of people, as one aspect of globalization, on contemporary international relations, referring to one or more examples.）

国際関係論 専攻 _____ 領域（博士前期/修士・**博士後期**・前後期共通）

試験科目：第 外国語（ ） / 専門科目（ 国際比較論 ）

試験時間：（ 90 ）分

異なる国民国家における労働移民と受入社会との問題について取り上げ、その原因と状況における共通点と差異について論じなさい。

国際関係論 専攻 _____ 領域（博士前期/修士・**博士後期**・前後期共通）

試験科目：第 外国語（ドイツ語） / 専門科目（ ）

試験時間：（ 60 ）分

以下の文章を日本語に訳しなさい。

(H.-J.Lauth/G.Pickel/S.Pickel,(2014), *Vergleich politischer Systeme*, Paderborn.)